

「2018年ベトナム国家大学ハノイ校サマースクール参加報告書」

京都大学医学部1年 岡田彩花

私たちは、2週間のうちにベトナム国家大学外国語大学(ULIS)とベトナム国家大学人文社会大学(USSH)に各1週間ずつ訪れて授業に参加しました。また最終日には、両大学の学生サポーターさんと日本とベトナムについて、日本語で共同発表を行いました。ULISでは、日本語学科の授業で学生と日本語で話す機会が多くあり、その中でできるだけ簡単で正しい日本語で話すことをかなり意識しました。なぜなら、ベトナムの学生さんは私たちが話す日本語は絶対に正しいものだと思うはずだからです。私自身、普段は方言まじりの日本語で話しているため、方言をあまり使わないように、そしてイントネーションを正しいものにするのに苦労しました。USSHでは、大学の先生方が私たちのためだけに授業をしていただくという機会が多くありました。英語または日本語で、ベトナムの文化(メディア、知的財産権など)についての講義をしていただきました。正直、日本についてでもあまり知らない分野の講義があったので、日本についてもっと学んでから受けるべきだったと後悔しました。

ベトナムの学生さんたちは、今の私よりもかなり勉学に励んでいるように感じました。毎日たくさんの課題があるそうです。そのことを聞き、これから私も頑張ろうという気持ちを改めて持つことができ、よい刺激となりました。

サポーターさんたちは、昼休みや放課後に大衆食堂やショッピングモール、レストラン、観光地などに連れて行ってくれました。初めてベトナムを訪れた私にとって料理の注文方法、値切り方、タクシーの乗り方などはとても難しいものでした。しかし、1週目は彼女たちがいつもそばにいてくれてたくさん教えてもらうことができました。慣れない環境での手厚いサポートは、本当にありがたかったです。

ベトナムを訪れて、良い出会いがたくさんありました。彼女たちが日本に来るときは、ベトナムでお世話になった恩返しをしたいと思います。また、ベトナム人だけでなく日本に来た留学生に日本の文化や観光地、料理などたくさんのことを教えられるように、日本の勉強もしていきたいと思うようになりました。これから他の国に留学するときは、日本のことと相手の国のことの両方を学んでから出発しようと思います。そして、日本の文化について自信を持って海外の方に伝えたいです。